

2012年度の北大小児科年報の発刊にあたって

2012年度の北大小児科の年報の発刊にあたり、一言ご挨拶させていただきます。今年で北大小児科年報の発刊は9回目となります。どうぞ北大小児科とその関連病院で働く仲間の活躍をご覧ください。

2013年の今年をふりかえると嬉しい最大のニュースは2020年のオリンピック、パラリンピックの開催が東京に決定したことではないでしょうか？目標ができるという事は多くの人に希望を与えるものだと痛感した次第です。

この年報から北大小児科とその関連病院で働く皆さんの目標が見え、希望が感じられる事を期待しています。今回から、大学での活動をより詳細に知ってもらおうと、ほぼ毎月行われている月曜集談会の内容と、毎週行っている抄読会の内容も報告させていただくことにしました。皆様のご批判をお待ちしております。関連病院からの報告もより充実したものとなっていく事を期待しています。北大小児科とその関連病院では仕事の内容や立場の違いはありますが、それぞれの立場の個々人がこの年報を顧みて、自分は全力を尽くしたという感想を持てるとすれば、この年報は非常に価値のあるものになっていくと思います。

さて、東京オリンピック開催決定の驚喜が一度通り過ぎた後、ほとんどの人が自分の7年後の事を考えたのではないのでしょうか。皆さんは7年後の自分をどの様に想像しましたか？7年という年月は実に適当なスパンであり、あらゆる可能性を秘めています。

近未来を想像するのは楽しいものですが、この年報を通して自分の一年を振り返る事も重要です。7年後のより充実した未来を築く為にもまずは自らの足下を見つめ、より充実した次年度への決意を固めてほしいと思っております。

北海道大学大学院医学研究科

小児科学分野 教授 有賀 正